

青少年体験活動 ボランティア養成研修

【第1回】平成29年5月20(土)～21日(日)
【第2回】平成29年6月3日(土)～4日(日)

【目的】

教育事業や研修支援などの運営協力・指導補助などを担うボランティア人材を育成し、青少年教育におけるボランティア活動を一層推進するとともに、本所におけるボランティア活動の充実を図る。

【参加者】 【第1回】高校生1名、大学生18名 【第2回】大学生13名

【プログラムの内容】

1日目

- 10:00 開講式、オリエンテーション
- 10:30 講義「ボランティア活動の意義」
- 13:00 演習「ボランティア活動の技術」
- 18:00 講義「青少年教育」
- 19:00 講義「青少年教育施設におけるボランティア活動」

2日目

- 9:00 演習「安全管理」
- 13:00 講義「青少年教育の現状と運営」
- 14:00 演習「これからのボランティア活動にむけて」
- 14:30 説明「法人ボランティア登録制度」
- 15:00 閉講式

講義「ボランティア活動の意義」



“ボランティアとは何か”について考え、ボランティアとしての心構えや子供への接し方などについて学びました。

演習「ボランティア活動の技術」



薪割りや炊事を実際に体験しながら、カレーを作りました。技術の習得だけでなく、参加者同士の交流もできました。最後のふりかえりでは、野外炊飯の魅力や、野外炊飯を通して何が学べるのかなどについて、参加者同士で意見交換を行いました。

講義「青少年教育」、 講義「青少年教育施設におけるボランティア活動」



「青少年教育」では、青少年になぜ体験が重要なのか、また、徳地自然の家では実際にどのような取り組みをしているのかについて学びました。その後、「青少年教育施設でのボランティア活動」では現在自然の家でボランティアとして活躍している先輩に、ボランティアの魅力ややりがいについて話していただきました。

演習「安全管理」



赤十字救急法指導員の方から心肺蘇生法や三角巾を使った止血法などを教えていただきました。さらに、2回目では大塚製薬の方から熱中症について教えていただき、予防と対応について学びました。

講義「青少年教育施設の現状と課題」、 演習「これからのボランティア活動にむけて」、 説明「法人ボランティア登録制度」



「青少年教育施設の現状と課題」では、教育とは何なのか、青少年教育施設の教育機能についてなどを学びました。「これからのボランティア活動にむけて」では、2日間のふりかえりを行い、これからのボランティア活動に向けての意欲を高めることができました。最後の「法人ボランティア登録制度」では、法人ボランティアの登録方法について知り、多くの参加者が登録をしてくださりました。

【参加者の声】

「最初は興味本位で参加したが、これからの私にとってかけがえない経験ができる良い場所になりそうだと思います。」
「楽しく学ぶことができました。これからは、楽しませる側として頑張っていきたいです。」などの声をいただきました。

【成果】

事業満足度が100%であったことから、プログラムの運営がよかったことが伺える。
今年度より2回研修会を実施したことで、参加者の予定に合わせて参加できるようになった。

【課題】

カリキュラムの内容の中には重複するものもあったため、実技等を取り入れるなどの工夫が必要である。